

佐賀県知事 様

住 所 佐賀県唐津市南城内2番6号  
団 体 名 特定非営利活動法人  
唐津環境防災推進機構 KANNE  
代表者職・氏名 理事長 西脇 俊彦

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和2年8月13日付け県協第923号により寄附金交付決定通知のあった佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第6号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第6号 別紙2）

## 令和2年度寄附金活用実績報告書

事業名	虹の松原再生・保全活動体験学習
寄附受入額	274,000円
事業内容 (いつ、どこで、誰が、何を、どのように実施したのかについて記載)	<p>(1) 唐津市内児童クラブ (夏休み) 「虹の松原出前講座」</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■期間: 2020年8月</li><li>■場所・会場: 唐津市内児童クラブ (13ヵ所)</li><li>■参加者: 唐津市内児童クラブ (536人)</li><li>■事業の要旨: 当会スタッフが児童クラブに出向き、虹の松原講座のあと、松ぼっくり工作 (松ぼっくりモバイル) を行った</li></ul> <p>その他、公民館にても実施</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・呼子公民館 (8/1: 15人)</li><li>・打上公民館 (10/24: 25人)</li></ul> <p>(2) 虹の松原体験教室</p> <ul style="list-style-type: none"><li>■期間: 2020年8月～2020年11月</li><li>■場所・会場: 唐津市内小学校等</li><li>■参加者: 唐津市内小学生 (181人)</li><li>■事業の要旨: 唐津市内の小学校等の児童に対して、当会スタッフが虹の松原の出前学習にて松原の現状や歴史など伝え、現地では虹の松原について触れ親しむことができる自然体験プログラムと虹の松原再生・保全活動を実施した。</li></ul> <ul style="list-style-type: none"><li>①NPO法人博心館 (35人) 出前学習 (8/12)、(8/17)</li><li>②平原小学校 (全校: 51人) 出前学習 (10/1)、現地体験 (10/3)</li><li>③大志小学校 (4年生: 70人) 出前教室 (11/12)、現地体験 (11/17)</li><li>④打上小学校 (5年生: 25人) 学習 (11/5)、現地体験 (11/9)</li></ul> <p>ぴ〜ふる放送のアーカイブでご覧いただけます。【2020/11/26 放送分】</p> <p>「キッズビジョン・松原学習 (5分12秒あたりから)」</p> <p><a href="http://wpub.people-i.ne.jp/sys/general_broadcast_archives/view/3794">http://wpub.people-i.ne.jp/sys/general_broadcast_archives/view/3794</a></p>
事業実施の成果・効果 (見込み)	<p>「虹の松原」は地域においては、シンボリックな存在であることは誰もが認めることである。しかし、近年の子どもたちにとっては、近くて遠い存在になってしまっている。そのために、これまで虹の松原に触れ親しんだことのない、唐津市内の小学生に対して虹の松原の出前学習を行うことができ、虹の松原や身近な自然を守る大切さ、さらに、ふるさとを愛する心を育むことができた。</p> <p>虹の松原の再生・保全活動が未来へ続いていくための基盤づくり (人材育成) を図ることにより、これをきっかけとした将来のまちづくりの担い手になることに期待が持てた。</p>

(様式第6号 別紙2)

収 支 決 算 書

事業名		虹の松原再生・保全活動体験学習	
区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	274,000	第2回交付
	繰越金	8,466	
		収入 計	282,466
支 出	謝金	0	
	旅費	0	
	印刷製本費	0	
	消耗品費	1,775	工作材料費
	使用料・賃借料	135,300	バス借上げ料
	次年度への繰越金	51,619	
	返礼品の調達に係る費用	36,806	
	返礼品の送付に係る費用	11,356	
	広報に係る費用	45,610	
	事務に係る費用	0	
		支出 計	282,466

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。

経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。